

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23124
課題名	大腸癌肝転移症例における治療戦略の探索
研究期間	実施許可日 ～ 2026年3月31日
研究の対象	2015年1月から2023年9月までの間に旭川医科大学病院 肝胆膵・移植外科に通院または入院し、肝切除を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、画像所見、血液検査結果、手術情報、病理検査結果 等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 利用予定日（開始日 2023年12月10日）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	大腸癌肝転移に対する治療法として完全切除による制御は生存率の延長につながり、その中には術前化学療法がさらなる成績の改善に寄与する症例があることがわかっていますが、具体的にどのような症例が術前化学療法の恩恵を受けることができるかはわかっておらず、術前化学療法を行うべき大腸癌肝転移症例の条件を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	期間中に当院で施行した大腸癌肝転移切除症例の術前画像結果、採血結果や原発巣および肝転移の病理結果から生存・再発予後因子を解析し、予後不良因子を同定します。さらに術前化学療法との関連を解析します。
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者 所在地；旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話番号；0166-68-2503 メールアドレス；sshimada@asahikawa-med.ac.jp 研究責任者：旭川医科大学外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野 島田 慎吾</p>